

草の根 通信

VOLUME

114

Kusanone Tsushin

[2023年3月発行]



※シアトル大会に集合していたCIE-USメンバーや全米日米協会連合会 (NAJAS) メンバーたち

特集

アメリカ側パートナー CIE-USについて オハイオ州議会議事堂の秘密

- ・ 万次郎関連団体活動のお知らせ
 - 米国・日米関係についての高校生クイズ大会「第3回アメリカボウル大会」
 - 劇団四季ファミリーミュージカル『ジョン万次郎の夢』
 - CIE-US 理事マシュー・C・ペリー氏ブログ

アメリカ側パートナー CIE-USについて

公益財団法人ジョン万次郎ホイットフィールド記念

国際草の根交流センター

John Manjiro Whitfield Commemorative

Center for International Exchange-U.S.

日本とアメリカの人たちがより深く理解し合い、友情を育むことを促進するために、CIEは「日米草の根交流サミット」を1991年より毎年日本とアメリカで交互に開催してきました。そのサミット大会を円滑に準備し、アメリカ側でCIEをサポートする団体として2001年に結成されたのがCIE-USです。CIE-USの活動内容は、アメリカ国内での日米草の根交流サミットの広報活動や、アメリカ大会の開催候補地の紹介、日本でのサミット大会へのアメリカ人参加者募集の協力など、多岐にわたります。コロナ禍下においては日米の文化や歴史に関するウェビナーや、オンライン交流会などでCIE-USのメンバーたちを見かけた方も多くいらっしゃると思います。今回は、ボランティアで、CIEの活動を影武者のように支えてくださっているメンバーたちをご紹介します。



ジェイムズ・ケリー
James Kelly

CIE-US 理事長
元アメリカ海軍少将

皆さんこんにちは！

私は1989年に愛する妻エイミー（同じくアメリカ海軍将校）と共に日本に赴任しました。日本の重要な同盟の一員として厚木海軍航空基地に配属され、当時は、湾岸戦争のアラビア湾派遣などで多くの時間を海上で過ごしましたが、92年までの4年間は日本各地を巡ることができ、日本という国と国民を本当に好きになりました！富士山登山、全国の温泉や旅館巡り、餃子、海軍カレー、野球、長野や日本アルプスでのスキーやハイキング、北海道から沖縄まで、できる限りのことを学び、経験しました。私たち二人は日本人には見えなかったかもしれませんが、日本文化を吸収しました。浴衣を着ての花火鑑賞や盆踊りを楽しみ、「屋台」を食べ（そう、おいしいビールと日本酒とともに！）、心から日本に溶け込みました。92年に帰国する時も、私たちはいつか戻ってくることを夢見ていました。2003年、夢が叶い、今度は少将として横須賀のキティホーク空母司令官として戻ってきました。当時米海軍第7艦隊と海上自衛隊艦隊は、まさに海の「戦友」として、強い同盟を築きました。2005年、私は、在日米海軍基地（計6基地）を統括する「在日海軍司令部

(CNFJ)」の責任者となりました。その頃エイミーは、横須賀地域の多くの高校で英語を教えていました。私は日米政府の間で海軍の様々な事象や、キティホークから原子力空母ジョージ・ワシントンへの移行を支援しました。私は、2009年に現役を退きましたが、エイミーと私の日本との関係は、生涯を通じて築いた友情もあり、日本とは第2の故郷としてこれからもつながっていただろうと確信していました。

2018年からのCIE-US理事長就任は、私の退役後生活の「夢の仕事」です!!! 私とカウンターパートの石川CIE理事長とは、唯一無二の日米草の根交流サミットを通じて、両国民がより理解を深め、生涯にわたる関係を築くために尽力しています!!!

ホームステイは、文化や習慣を知り、真の友情を育む、草の根交流です。言葉は問題ではありません！私たちも実践し、楽しんでいます。エイミーと私には、西宮（2019年）と小布施（2022年）という2つの「大家族」と、2018年のシアトル大会で我が家にステイした広島のお姉さんがいます！そして、今年9月のオハイオ大会では、さらに素晴らしい友人に出会えるのを楽しみにしています。最後に、私たちは野球が大好きで、我が家には露天風呂もあります!!!

ガンバリマシヨウ ジャパン/USA！



グレッグ・ボイコ Greg Boyko

元CIE-US理事長
在ボストン日本国名誉領事
ハートフォード・ライフ・インターナショナル
元会長兼CEO

私は、金融や法律分野を経て米企業の国際業務に携わったことにより、日本での事業立ち上げのため1990年後半ごろから日本に通い始め、すぐに日本とその人々に恋をしてしまったのです。その後15年間で100回以上日本を訪れ、実際に1年半ほど日本に住んだこともあります。また、私は近年ボストン領事館を支援する日本の名誉領事を努めています。私たちの言語や文化は大きく異なりますが、私が最も興味をそそられたのは、法、教育、人権、互いの尊重など、多くの共通の価値観を共有していることです。

日本では、長年にわたり日本経済新聞のコラム欄に、月一度短編エッセイを掲載していました。様々なテーマでしたが、なかでも特に反響が大きかったのは、日本とアメリカの和解し難い違いについてで

した。それは、快適な室温についてでした。アメリカ人にとって華氏72度（約22℃）は暖かすぎるが、日本人にとって78度（約25℃）は寒いというのです。私たちは多くの価値感を共有し、世界で最も重要な友好関係を築いていますが、求める温度が違うという事実を受け入れるしかないのでしょうか。

最後に、私にとっての最大の喜びは、CIE-USと一緒に仕事をしたことです。私は、2018年に非常に有能なジェイミー・ケリーが引き継ぐまで、ほぼ当初からCIE-US理事長を務めていました。その後も私が理事を続けてきたのは、太平洋の両側で日米の親善大使を作ることが、友好と協力を促進する上で絶対に最も重要な方法だと考えるからです。

マーク・トウェインの言葉に "Travel is fatal to prejudice (旅は固定概念を変える最良の手段である)" というのがあります。もし彼が今生きていたら、"Promoting friendship between the US and Japan is God's work (日米の友好を促進することは神の業である)" と言ったと思います。



ドナ・D・フレイシュ Donna D. Fraiche

在ニューオリンズ日本名誉領事
ルイジアナ州領事団会計官

CIE-USは日米間の草の根交流に対して熱意と献身的な努力を積んでいる団体です。特にジェイミー・ケリー理事長の逞しいリーダーシップは私たちの起動力です。

私にとって、日本の文化や風土、そして特に人々に接する体験をすることは、最も実りあることでした。人々との暮らしを共有することで、有意義で幸せな永続的な友情が生まれ、外交関係だけでなく、個人的な関係も育まれました。ニューオリンズ市は、日本の松江市と姉妹都市提携を結んでいます。交流は特別な思い出を作ります。私の日本の思い出は、茶道、石碑、神社、自然の美しさ、素晴らしい食べ物、そして美味しいお酒など数多くあります。東京、京都、奈良、神戸、広島なども訪問しました。日本で友達ができれば、その友情に一生感謝することになるでしょう。

オハイオについて、私は、娘が研修医としてクリーブランド周辺に住むまで、オハイオ州の素晴らしさを知りませんでした。訪問してみると、コミュニティの温かさ、自然の豊かさをすぐに感じる事ができました。オハイオはまだまだ多くの人に知られていない魅力がある州なのだと思います。また、オハイオ州には、多くの米国企業の拠点が置かれているだけでなく、日本との友好関係がしっかりと根付いており、日本の海外投資を誘致する手段も確立していることを知りました。オハイオでの日米草の根交流サミット大会の開催を楽しみにしています。

ルイザ・ルーベンファイン Louisa Rubinfi

メリーランド大学日本史主任講師

私の日本での草の根交流の始まりは、私が赤ちゃんの頃、父の仕事の都合で東京に引っ越したことからです。それは私たち家族にとって、人生を変えるような体験でした。

毎日、友達の家で集まると、古い牛乳箱に顔を突っ込みながら、「ルイザ、遊びましょ♪」と歌って私を呼び、暗くなるまで路地で遊ぶという本当に幸せな日々を過ごしました。いつでも、私たち家族は長野や新潟、京都、九州の家庭に歓迎され、アメリカでも多くの日本の友人が私たちのものに滞在してくれました。私たちは、喜びと感動に満ちた生涯の友情を育んできました。

10年前、子どもたちと東京に戻ってきた時には、今度は私が、子どもたちが新しい世界に感謝することを学ぶのを見ることができました。そして、私の92歳の母の最後の日本訪問を迎えることもできました。天神様の物語が好きな母を、私は毎日、公園に咲く梅の花を見に連れて行きました。近所の人たちも、塩分控えめのおいしい日本食を作ってくれました。おかげさまで親孝行をすることができ、とてもありがたく思っています。

CIEの日米草の根交流サミットは、あらゆる年齢層の、アメリカや日本のあらゆる地域からの人々を歓迎し、心を開き、与え、受け取り、お互いの世界と価値観を共有する、とても特別なプログラムです。それぞれの国の人々が、相手の寛容さ、好奇心、そして真の善意を体験するたびに、私は嬉しくなります。この先、多くのサミットで皆さんにお会いできることを楽しみにしています。

アーバン・レーナー Urban C. Lehner

DTN/The Progressive Farmer
(元ウォール・ストリート・ジャーナル社)
ウォール・ストリート・ジャーナル元東京支局長

2017年、私はサミット大会でのホームステイを体験しましたが、それは人生を変えるような素晴らしい経験でした。

1980年代にウォール・ストリート・ジャーナルの東京支局長として8年間日本に滞在し、日本語を長年勉強していたので、日本については何となく知っていました。しかし、奈良県のある村でホームステイをしたことは、私に生涯の友を与えてくれただけでなく、日本という国に対する私の理解をも変えてくれました。記者として接してきた官僚やサラリーマン以外の日本人が、どのように暮らしているかを見ることができ、アメリカ人と日本人の共通点、相違点をよりよく理解することができました(私はアメリカの農家向けにブログを書いています。私のホームステイについて書いた記事は下記のQRコードからご覧いただけます)。

私はこの体験から、日米間の相互理解を促進するためには、日米草の根交流サミットへの参加に勝るものはないと確信しています。オハイオ大会に参加される方は、温かく迎え入れられ、新たな友情を育み、一生ものの思い出を持って帰られることと確信しています。



ブログ記事

ジェームズ・ギャノン James Gannon

日本国際交流センター (JCIE/USA) シニアフェロー
米国JETプログラム同窓会 (USJETAA) 副会長

ニュージャージー州の小さな農場で育った私は、当時日本についてほとんど知らず、日本へ行くことなど夢にも思っていませんでした。しかし、人と人をつなげる異文化交流が私の人生を変えました。1992年に大学を卒業した後、同級生からJETプログラムのことを聞き、応募すると、愛媛県へ1年の赴任が決まりました。しかし、すぐに地元が好きになり、1年の滞在が2年、3年となり、やがて日米関係の仕事に就くことになりました。

その後、2021年までの20年間、日米政策研究機関であるJCIE/USAの代表を務めました。最も感動的なエピソードは、2011年の震災後、米国から東北の団体に寄付をする活動を行ったことでした。私は数カ月には一度は岩手を訪れ、海外との連携が被災者にとっていかに大きな意味を持つか気付かされました。また、多くのアメリカ人が日本と草の根レベルでの交流があることにも驚かされました。その絆こそ、復興支援のために7億5,000万ドルもの寄付が米国から寄せられた理由だと思うのです。このような草の根の絆を育むからこそ、日米草の根交流サミットは重要であり、私はCIEと一緒に仕事ができることを嬉しく思います。



マシュー・C・ペリー Dr. Matthew C. Perry
米国地質調査所名誉科学者

ロードアイランド州出身の私は、1854年に日米和親条約を締結するために交渉にあたった、私の先祖のマシュー・C・ペリー提督に幼い頃から興味を持っていました。このような背景から、私はいつしか日本が大好きになり、日本を訪れ、学びたいと思っていました。大学卒業後、アメリカ海軍の船で、日本へ2度渡航しました。その後、野生動物研究者として40年間アメリカ政府で働き、2011年に退官しました。現在も名誉科学者、野生動物保護史の著者として精力的に活動しています。また、先祖であるペリー提督をはじめとする家族の歴史についての執筆や講演も行っています。近年は日米草の根交流サミットや文化交流プログラムへの参加のため9回日本を訪れ、日米関係に関わるいくつかの委員会の委員も務めています。

日米草の根交流サミットは、日本について学びながら、文化交流や平和的な国家間関係に関心を持つ人々と友好的で刺激的な時間を過ごすことができる素晴らしい経験だと感じています。私の日本での体験談の一部はCIEウェブサイトやCIE-USニュースレターで見ることができます。オハイオ大会にも参加する予定です。今から日本からの新しい友人に会うことを楽しみにしています。コロナバスでお会いしましょう!!!!



デブラ (デビー)・サイトウ Debra (Debby) Saito
ニューヨーク連邦準備銀行 役員

高校生の時、日本の学校の先生が彼女の英語クラスの生徒たちを私の故郷であるウィスコンシンへホームステイ体験のために連れてきたことがありました。幸運なことに私はそのホストファミリーの一人になることができました。たった1週間の滞在でしたが、ホストシスターやブラザーととても仲良い家族となりました。

大学時代、日本に留学した私は、到着後すぐに大阪府枚方市にいるホストシスターに会いに行きました。まさに家族との再会でした。数ヶ月後帰国すると、私の父が「すべての国にホームステイができれば、もう戦争は起きないだろう」と言ったことがとても心に残りました。ですが、ホームステイのプログラムを見つけるのは容易ではありません。すべての学校が提供しているわけではないし、誰もが学齢期であるわけでもありません。そこで、国際草の根交流センター(CIE)の存在意義があるのです。**あらゆる年齢層**の人々にホームステイを提供し、両国を結ぶ歴史の糸にあなたを絡ませるといふ、最もユニークで素晴らしい機会を提供しています。CIEは、事実上の交換留学生の元祖である万次郎とホイットフィールド家との永遠の絆に敬意を表し、ペリー提督の子孫も加わり、何世代にもわたる絆をより強固なものにしています。この特別な団体を支援するために、私がCIE-USの理事を務めることは、特権であり大変な名誉なことと思っています。

デイル・ワタナベ Dale Watanabe

ワシントン州日米協会専務理事

2018年のシアトル・ワシントン州大会をホストした翌年、2019年、日米草の根サミット兵庫・姫路大会に、初めて日本を訪れる妻と二人の娘たち(15歳と18歳)と参加しました。当初は家族全員で一緒にホストファミリーに泊まりたいだろうと思っていたのですが、それぞれが一人ずつのホストファミリーを希望し、2つの町の4つの家庭で、それぞれがユニークな体験をしてきました。

私は何度も日本へ行ったことがあります。初めての旅行は20代前半の時、交換留学生として滞在していた姉を訪ねました。マイクロソフトに勤務していた頃は、頻りに日本出張がありましたが、家族全員での兵庫・姫路大会参加は、大変素晴らしい体験であり、目を見開かされました。

去年11月の小布施サミットも参加し、異文化の人々を理解し合うには、人々との交流やホームステイを体験する、この方法が一番だとさらに確信しました。私のホストファミリーは、町議会議員の女性とそのご主人のご家庭でした。親切な方たちで、木彫りが好きなことを披露し、もう一人のゲストと私のために歌で歓迎してくれました。私は京都で別の会議に出席しなければならなかったため、1泊しかできなかったのですが、英語と日本語の言葉による私と彼らの隔たりはあったにもかかわらず、私は本当のつながりを感じることができました。思い出に残る、心温まる滞在となりました。



ジョン・ウィーラー John Wheeler

ニューヨーク・日本協会 元副理事長

私は、学生として、出版社の経営者として、コンサルタントとして、そしてニューヨークのジャパン・ソサエティの幹部として40年以上にわたり日本や日米関係に携わってきました。7年間の東京での仕事と暮らし、数え切れないほどの日本への訪問の際に、日本の政治家、官僚、企業経営者、芸術家、その他著名な方々と定期的にお会いしてきました。しかし、私が日本や日本人を心から理解できるようになったのは、草の根レベルでの人々との出会いからなのです。

東京の大学院で語学を学んでいた頃、近所に住んでいた人たちとの交流がきっかけとなり、多くの縁が広がりました。例えば、私のアパートにはお風呂がなかったため近所の銭湯へ出かけると、その常連客は、外国人の私に警戒心を抱きながらも、やがて陽気に私を仲間に迎え入れてくれました。また、行きつけになった喫茶店の店主家族からは息子のように可愛がられ、絵本の挿絵を描いている画家とも親しくなりました。ある晩、その画家と私は思い立って日本海側を訪れることにしました。直江津に向かう夜行列車乗り込むと、たまたま知り合った出張帰りの男性が、なんと「朝食をごちそうしますよ」と声をかけてくれたのです。突然の早朝の訪問者に、奥さんも驚きながらも、朝5時から新潟の銘酒でごちそうしてくれたのでした。

こうした「本当の日本」との出会いが、魅力的な発見と相互理解を生むと信じています。私はCIEと共に草の根サミットを通じて、このような出会いを促進することを目指しています。



フレッド・カタヤマ Frederick Katayama
CIE-US 副理事長
ジャーナリスト、トムソン・ロイター



カズヨシ・ドウモト Kazuyoshi "Yoshi" Domoto
ジョージア日米協会専務理事



デイビッド・ジェーンズ David Janes
GCI : グローバル・シティズンズ・イニシアチブ専務理事



ピーター・ケリー Peter Kelley
全米日米協会前会長



ダグラス・アーバー Douglas Erber
南カリフォルニア日米協会前理事長



青木千佳 Chika Aoki
CIE 事務局長



アンバサダー

アンバサダーとは、3 任期を満了して退任した理事が、引き続きCIE-USの活動を支援し、関わりを持ち続けている方々です。



ウィリアム R. ファレル Dr. William R. Farrell
在ロードアイランド日本国名誉領事
全米日米協会連合会元理事長

私と日本との関係は1969年、空軍士官として日本に赴任したことから始まります。その後50年間、私は定期的に日本に滞在し、東京の米国商工会議所の専務理事やアジアを中心としたコンサルティング会社の会長、全米日米協会連合会会長などの職務を10年にわたり務めました。私は、稚内や三沢、そして東京にも住む機会がありましたので、さまざまな角度から日本を見てきました。また、奈良、サンフランシスコ、シアトルで開催されたサミット大会にも参加しました。日本の友人たちと綿密な計画を立て、連携して強い関係を築いた思い出が残っています。ミシガン大学国際関係学の博士号を取得。2012年、日米関係の強化が評価され、旭日小綬章を受章。2018年からロードアイランド州の在日日本名誉領事を務めています。



ピーター・グリーリー Peter Grilli
ボストン日本協会名誉理事長

私は幼少の頃、日本で育ち、学業とキャリアのすべてを日米文化交流の活動に費やしてきました。万次郎とホイットフィールド船長の関係は、二国間友好の最も優れた歴史的な例だと思います。過去数年間、私はいくつかの日米草の根交流サミットに参加し、その経験を大いに楽しみました。サミット大会は日米の市民が友情と相互理解のために集う大変素晴らしい機会です！



マシュー・クレブス Dr. Matthew Krebs
ボストン日本協会前専務理事

万次郎関連団体活動のお知らせ

一般社団法人日米協会主催

米国・日米関係についての高校生クイズ大会
「第3回アメリカボウル大会」のご案内



開催日 : 2023年10月28日(土)
会場 : 港区赤坂区民センター
申込み方法 :
日米協会HPより6月頃発表
<https://ajstokyo.org/>
お問い合わせ :
america.bowl@ajstokyo.org

上位3校は1週間ワシントン D.C. に訪問招待へ！
(学校単位で原則3名のチーム)



第1回アメリカボウル
開催レポートはこちらから



第2回アメリカボウル
開催レポートはこちらから

劇団四季ファミリーミュージカル『ジョン万次郎の夢』



全国公演がいよいよ4月からスタート
します！

お問い合わせ・お申込み：劇団四季

☎ 0570-008-110 (ナビダイヤル)

<https://www.shiki.jp/navi/info/>



CIE-US理事マシュー・C・ペリー氏ブログ

『ペリーの日米草の根交流 Perry's Japan America Grassroots Exchange』公開中

ペリー提督を先祖に持つマシュー・C・ペリーが日米草の根交流サミットを通して得た草の根の日本文化体験や思い出を記録したブログを日本語訳付きで紹介しています。去年の日米草の根交流サミット・フォーラムの最新版をご覧ください。
<http://perry-blackship.blog.jp/>

OHIO Statehouse オハイオ州議会議事堂の秘密

今年9月に開催する日米草の根交流サミット 2023 オハイオ大会のオープニング式典と歓迎レセプションはオハイオ州議会議事堂 (Ohio Statehouse オハイオ・ステイトハウス) で行われます。

アメリカでは特に歴史的な建造価値のある議事堂や市役所などの公共施設を一般に開放していることが多く、オハイオ・ステイトハウスもその一つ。訪れるのが楽しみになりますよ！

Point アメリカ国内で最も古い議事堂の一つ

1861年に完成したオハイオ州議会議事堂は、国指定歴史建造物であり、ギリシャ復興様式の建築物で、オハイオのランドマークの一つとして内外の多くの観光客も訪れています。

プチ情報

特に有名な国指定歴史建造物は、
 マサチューセッツ州議会議事堂(マサチューセッツ州ボストン市)
 ペンシルベニア州議会議事堂(ペンシルベニア州 Harrisburg 市)
 バージニア州議会議事堂(バージニア州リッチモンド市)
 ニューヨーク州議会議事堂(ニューヨーク州オールバニ市)
 インディアナ州議会議事堂(インディアナ州インディアナポリス市)
 が挙げられます。

Point オハイオ・ステイトハウス内の設備

立法会議場、ロタンダ、委員会室など、立法業務の施設はもとより、常設の歴史展示や体験型の博物館的な展示施設、カフェやオハイオ州の名産などを集めたギフトショップがあります。

ボランティアガイドによる無料のステイトハウス・ツアーもあります！



The Atrium アトリウム(中庭)ホール: オープニング式典会場予定

州議事堂と上院議事堂をつなぐこのホールは、1993年に完成しました。文字通り以前は二つの建物との間にあった中庭で、沢山の鳩が軒に連なっていたので、職員や議員たちがここを渡るには大変苦労したそうです。



Point Rotunda ロタンダ: 歓迎レセプション会場予定

キューポラと呼ばれる小さなドーム上の建造物の下にあるホールで、その天窓には1847年版のオハイオ州の紋章が描かれています。オハイオ・ステイトハウスの中央に位置し、ここで多くの知事就任式が行われています。

歴史的には、リンカーン大統領の埋葬の際、ワシントンDCから故郷のイリノイ州スプリングフィールドへ戻る途中、ここで遺体を保管していた場所としても有名です。

また、このホールには、日本とアメリカの国交開始の一役をになったマシュー・カルブレイス・ペリー提督の兄、オリバー・ハザード・ペリー提督(アメリカでは兄の方が有名)の米英戦争時のエリー湖での戦い『Perry's Victory (by William H. Powell)』の原画が飾られています。



プチ情報

CIE-US理事のペリー氏はこの絵画にまつわるペリー家についてのスピーチを準備中!

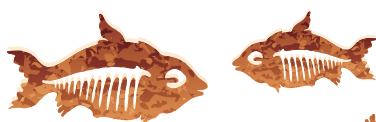
参考資料

Point オハイオ・ステイトハウスは化石博物館!

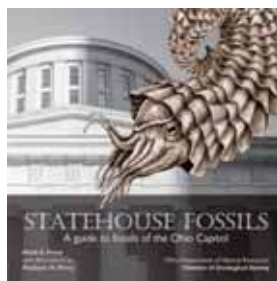
議事堂の壁や床、柱など、建物全体がオハイオの先史時代からの古い物語を伝えています。

この建造物の材料の多くはコロバス石灰岩から切り出されたものを使用しています。

コロバス石灰岩の歴史は古く、約3億9000万年前から4億500万年前のデボン紀にオハイオ州、ペンシルベニア州、バージニア州、カナダオンタリオ州に分布して形成されました。さらに、古く、オルドビス紀に形成されたというクラウン石灰岩も使用されており、カンブリア紀の三葉虫などの生物も化石として見つけることができるそうです。



詳しくは参考資料をご覧ください



参考: "STATEHOUSE FOSSILS: A guide to fossils of the Ohio Capitol" by Mark E. Peter, Ohio Department of Natural Resources, Division of Geological Survey



こちらからご覧になれます。
https://ohiodnr.gov/static/documents/geology/StatehouseFossils_Peter_2020.pdf

※施設内で無料配布しています (英文のみ)

Japanese Hospitality Wherever You Fly



寄附協賛企業一覧 (五十音順) List of Corporate sponsors of CIE Japan

AISIN

株式会社アイシン
AISIN CORPORATION

AICHI STEEL

愛知製鋼株式会社
AICHI STEEL CORPORATION

JTEKT

株式会社ジェイテクト
JTEKT CORPORATION

ANA

全日本空輸株式会社
All Nippon Airways Co., Ltd.

DAIKIN

ダイキン工業株式会社
Daikin Industries, Ltd.

DENSO

株式会社デンソー
DENSO CORPORATION

Doo Company
COMMUNICATION & DESIGN

株式会社ドゥカンパニー
DooCompany Co.,Ltd

DOCTOR

株式会社ドトールコーヒー
Doutor Coffee Co., Ltd.

豊田合成

豊田合成株式会社
TOYODA GOSEI CO., LTD.

TOYOTA

トヨタ自動車株式会社
TOYOTA MOTOR CORPORATION

豊田自動織機

株式会社豊田自動織機
Toyota Industries Corporation

豊田通商

豊田通商株式会社
Toyota Tsusho Corporation

TOYOTA
FINANCIAL SERVICES

トヨタファイナンシャル
サービス株式会社
TOYOTA FINANCIAL SERVICES
CORPORATION

トヨタ紡織

トヨタ紡織株式会社
TOYOTA BOSHOKU
CORPORATION

NIFCO

株式会社ニフコ
Nifco Inc.

FKD | FUKADA DENKI
地球と手をつなぐ、電材カンパニー。

深田電機株式会社
FUKADA DENKI

HINO

日野自動車株式会社
Hino Motors, Ltd.

FUJITSU

富士通株式会社
Fujitsu Limited

brother

ブラザー工業株式会社
BROTHER INDUSTRIES, LTD.

MS&AD 三井住友海上

三井住友海上火災保険株式会社
Mitsui Sumitomo Insurance
Company, Limited

SMBC 三井住友銀行

株式会社三井住友銀行
Sumitomo Mitsui Banking
Corporation

森村豊明会

公益財団法人森村豊明会
MORIMURA HOUMEIKAI
FOUNDATION

ダイハツ工業株式会社 / 東京海上日動火災保険株式会社
Daihatsu Motor Co., Ltd. / Tokio Marine & Nichido Fire Insurance Co., Ltd.

公益財団法人ジョン万次郎ホイットフィールド記念
国際草の根交流センター
John Manjiro Whitfield Commemorative
Center for International Exchange

〒102-0083 東京都千代田区麹町 2-12-18 グランアクス麹町 602
TEL : 03-3511-7171 FAX : 03-3511-7175

GRAND AXE 602 2-12-18 Koujimach, Chiyoda-ku, Tokyo 102-0083, Japan
TEL : +81-03-3511-7171 FAX : +81-03-3511-7175
Email : manjiro@manjiro.or.jp URL : http://www.manjiro.or.jp